

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は2008年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2 練習について

6月25日～6月29日の期間に練習会場使用日程に示す時間帯で「14. 練習会場の使用について」にもとづき練習ができる。  
(競技役員の指示に従い練習すること)

## 3 招集について

- (1) 招集所は本競技場の第5ゲート付近(100mスタート地点側)に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 招集の方法については次の通りである。
  - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。  
トラック競技のみ腰ナンバー標識(2枚)を受け取る。
  - ② 携帯電話等、競技規則第144条2(d)に関わる機器は競技場内に持ち込むことはできない。
  - ③ 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、競技者案内所に用意した書類で届ける。
  - ④ 補助競技場と招集所間の移動はシャトルバスを利用することができる。
  - ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。  
(補助競技場と招集所は徒歩5分程度、離れているので注意すること。)

## 4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、3枚配布する。(胸・背・手荷物用)(競技規則第143条7. 8を厳守)
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識(2枚)を招集時に配布する。
- (3) ナンバーカードとプログラムの配布については次のように行う。

25日(水)	13:00～17:00	等々力競技場	第5ゲート付近の選手・コーチ受付テント
26日(木)	9:00～17:00	等々力競技場	第5ゲート付近の選手・コーチ受付テント
27日(金)	10:00～17:00	等々力競技場	第5ゲート付近の選手・コーチ受付テント
28日(土)	12:00～17:00	等々力競技場	第5ゲート付近の選手・コーチ受付テント
29日(日)	13:00～15:00	等々力競技場	第5ゲート付近の選手・コーチ受付テント
- (4) 5000m、10000m出場者には、招集所にてレース用別ナンバーを配布する。  
その際、確認のため事前に配布したナンバーカード必ず持参すること。

## 5 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場内に入場する。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い、ミックスゾーンを通り退場する。  
なお、決勝において1～3位の競技者は、ミックスゾーンに誘導され、その後表彰者控え室に誘導される。

## 6 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技試技順は、デイリープログラム記載の順(棄権者を除いた競技者により大会前日のプログラム編成にて決定)による。決定されたレーン順・競技試技順は、前日15時に番組編成板に掲示する。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、番組編成板に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について同記録があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決める。それでも決められないときは抽選する。  
(競技規則第167条)(番組編成板:競技者案内所テント横)

## 7 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① トラック競技は、すべて写真判定装置を使用する。
  - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
  - ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
  - ④ 男子10000mにおいては競技運営上、1周遅れた競技者はレースを続行できないことがある。
- (2) フィールド競技について
  - ① 投てき競技の計測は、すべて光波測定器を使用する。
  - ② 跳躍・投てき(やり投)競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。またサークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ使用することができる。
  - ③ 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後位置を変更したい場合も、担当審判員に申し出る。
  - ④ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ⑤ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m・女子11mの地点に設置する。
- (3) 抗議は、競技規則第146条に従って定められた時間内に、競技者自身または、代理人が競技者案内所を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。

- (4) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは、類似の機器を競技場内で所持または使用することができない。(競技規則第144条2(d))  
競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (5) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤のカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (6) 棄権するものは、本選手権大会規定の「棄権届」に必要事項を記入し、次の要領で届けること。届けずに棄権した者は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。
- ①大会第1日目(6月26日)に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月24日(火)9時～15時までに下記の届け先までFAXで届ける。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- ②大会第2日目(6月27日)に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月26日(木)9時～12時までに下記の届け先までFAXで届ける。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- ③大会第3日目(6月28日)に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月27日(金)9時～12時までに下記の届け先までFAXで届ける。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- ④大会第4日目(6月29日)に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月28日(土)9時～12時までに下記の届け先までFAXで届ける。FAX送信後、必ず電話で確認すること。
- 《届け先・4日間とも》川崎とどろきアリーナ内 神奈川陸上競技協会事務局 宛  
TEL:044-751-4460 FAX:044-751-4480
- ⑤6月26日大会第1日目以降の棄権届は、競技者案内所でも受け付ける。

## 8 走高跳・棒高跳について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決まるまでは次の通りとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳	男子	2m00 または 2m10	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	2m24	2m27	3cm
	女子	1m60 または 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	1m84	1m87	
棒高跳	男子	4m90 または 5m20	5m00	5m10	5m20	5m30	5m40	5m45	5m50	5cm
	女子	3m50 または 3m80	3m60	3m80	3m90	4m00	4m05	4m10	4m15	

## 9 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

なお用具リストにないものは持ち込みを認める。

希望者は、各競技開始3時間前から2時間前までに競技者案内所に申し出る。ただし、検査に合格した用具は預かり証を発行の上、一括借り上げし参加競技者で共有できるものとする。競技終了後に競技者案内所で返却する。

## 10 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。

いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

## 11 表彰について

(1) 各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰台で行う。

(2) 各種目の1位の競技者には、選手権章と賞状とメダルを、2位、3位の競技者には賞状とメダルを授与する。

4位から8位の競技者には賞状を授与する

(3) 4位から8位までの競技者はその種目の正式結果発表後、30分を経過してから競技者案内所で賞状を渡す。

## 12 ドーピングコントロールテストについて

ドーピングコントロールテストは、IAAFの規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は競技役員の手指示に従ってテストを受ける。テストを受ける選手は付き添いをつけることができるので希望する選手は、連絡先(携帯電話など)を事前に準備しておくこと。

## 13 一般注意事項

(1) 商標等の規則については「競技会における広告及び展示物に関する規程」に違反したものについて主催者で処置する。

①上半身の衣類(シャツ・レオタード等)

\*製造会社名/ロゴ: 文字の高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内、面積30cm<sup>2</sup>以内の長方形

(トレーニングウェアやTシャツは文字の高さ4cm以内トータルのロゴの高さは5cm、面積40cm<sup>2</sup>以内の長方形)とする。

製造会社/ロゴの表示は1ヶ所のみとする。

②下半身の衣類(ソックス・ショーツ・タイツ等)

\*製造会社名/ロゴ:高さ4cm以内、面積20cm<sup>2</sup>以内のもの(ソックスは高さ2.5cm以内、面積5cm<sup>2</sup>以内)を1カ所表示することができる。

③バッグ

\*製造会社名/ロゴ:25cm<sup>2</sup>以内のものを2カ所まで表示することができる。

- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は救護室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は、本競技場及び補助競技場の建物内に設ける。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物については競技者案内所で保管する。保管期間は6月29日競技会終了までとする。
- (7) 記録はその都度発表するが補助競技場に設置の記録掲示板に印刷物で掲示する。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、競技者案内所に500円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は一切認めない。(国際陸連憲章第18条)
- (10) 送付された棒高跳ポールは本競技場第5ゲート付近(競技者案内所)で保管している。また、棒高跳ポールの返送(有料)は、競技終了後本競技場第5ゲート付近(競技者案内所)に申し出ること。
- (11) 競技者及びコーチには、受付時に大会主催者申し合わせ事項によりIDカードが渡される。コーチIDカードについては、参加者1名から2名は1枚、3名から5名は2枚、6名から9名は3枚、10名以上は4枚とする。IDカードで行動できる範囲は、補助競技場と観客席とするが、選手は出場時のみ競技場内に入れる。IDカード使用者は、場内を移動する場合は必ずIDカードが確認できるように携帯する。
- (12) 提出書類は次の通りとする。

	提出するもの	提出場所	提出時刻
①	棄権届	競技者案内所	招集完了時刻まで
②	2種目同時出場届	同上	同上
③	抗議申立書 (預託金1万円)	同上	結果の正式発表後、予選は15分以内 決勝は30分以内
④	持ち込み検査	競技者案内所を通じて公式計測員に	競技開始2時間前

14 練習会場使用について

(練習会場注意事項)

- ① 練習は各個人が、指定された場所・時間で行い事故防止に万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- ② 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- ③ 練習などは、個人が責任を持ち管理する。
- ④ 会場内の入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において常に、IDカードが確認できるように携帯する。
- ⑤ 本競技場では、フィールド競技の練習は行えない。

◎補助競技場

① 競走路の使用は、原則として以下の通りとする。なお、逆走は禁止する。

- ・1～2レーン・・・中・長距離
- ・3～4レーンは・・・短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点)
- ・5～6レーン・・・ハードル(ホームストレート)

\*第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路にかけての5～6レーンは400mハードル

② 跳躍種目のすべてが練習できる。

練習会場使用日程

		6月25日(水)	6月26日(木)	6月27日(金)	6月28日(土)	6月29日(日)
本競技場	トラック・跳躍	13:00～17:00	—	—	—	—
補助競技場	トラック・跳躍	—	8:00～18:00	9:00～20:00	12:00～18:00	13:00～18:00
	棒高跳 投てき	13:00～17:00	女やり10:00～11:00	女砲丸10:00～11:00	男円盤10:00～11:00 男砲丸14:00～15:00	女円盤10:30～11:30 男やり12:30～13:30

※ハンマー投げの練習はできない。

15 混成競技について(下記に示す以外は他の種目の注意事項と同様とする。)

(1) 招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

2種目目以降については下記の集合時間に混成競技者控室に集合し、競技役員の指示に従うこと。

トラック競技	フィールド競技
競技開始時刻25分前	競技開始40分前

競技者控室は本競技場バックスタンド下に設ける。

(2) 次種目から棄権する場合は、直ちに棄権届けを大会本部 混成競技審判長に提出すること。

(3) 2種目目から、それまでの合計得点のもっとも多い競技者はピンク色のナンバーカードを着用する。

(4) 最終種目では、それまでの合計得点上位8名は順に1~8の別ナンバーカードを胸につける。

(5) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

		練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
男子走高跳	A	1m75	1m80	1m85	1m88					以後3cmづつ上げる
	B	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88		以後3cmづつ上げる
女子走高跳	A	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63				以後3cmづつ上げる
	B	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後3cmづつ上げる
男子棒高跳	A	3m60	3m80	4m00	4m10					以後10cmづつ上げる
	B	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10		以後10cmづつ上げる

投てき用具一覧

男 子			女 子		
砲 丸 7.26kg	φ125.5	9	砲 丸 4.0kg	φ103	7
	φ129	3		φ109	5
円 盤 2.0kg	スーパー HM	4	円 盤 1.0kg	スーパー HM	4
	スーパー	4		スーパー	4
	デンフィー	1		デンフィー	1
	O T E	2		O T E	2
ハンマー 7.26kg	ギル	1	ハンマー 4.0kg	ギル	1
	タンガステン	8		ダクタイル	8
や り 800g	ダクタイル	4	や り 600g	鉄	4
	マ・イン	1		スーパー	2
	スーパー	1		ロング	1
	ロング	1		ミディアム	1
	ミディアム	1		サンドビック	6
	サンドビック	6		O T E	1
O T E	1	ネット	1		
ネット	1				